



# Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会  
■発行日／毎月5日  
■発行部数／40万部  
■発行エリア／横浜市内全域  
■制作／ヨコハマよみうり編集部  
〒231-0023  
横浜市中区山下町51-1  
読売横浜ビル8F

<http://yokohama-yomiuri.co.jp>

音楽 落語 演劇・舞台

チケットのお求めは7面へ

限定特価、先行発売、お見逃しなく!



人生を楽しむ達人、ロバート・ハリスさん。秘訣は「人を好きになること」なんだそう。人を好きになる→人に好かれる→自分が好きになる→人生が楽しくなる。その相乗効果なのだと教えてくれました。今からだって遅くない!人生、楽しまなくちゃ。

向かいました。

ストックホルムに着くと下宿を探し、レストランのウェイターをして生活費を稼ぎました。1967年のことです。街のオペラハウスには世界中からヒッピーが集まっていました。「アフガニスタンのカブールが面白いぞ」「インドのゴアがいいよ」など、世界各国のさまざまな話を彼らから聞くうちに旅を続けたくなり、中東経由でインドに向かいました。ポーカで旅費を稼ぎ、なんとか日本にたどり着いたのは冬。怖いもの知らずでした。

旅は非日常。特に海外に行くと、想像しなかったような人生を歩んでいる人がいて、「世界って本当に面白いな」と実感します。

## ドラマチックな人生を

安全な道と、危険だけど面白そうな道があったら、僕は必ず後者を選びます。大学卒業後、父に「サラリーマンにならないのなら英語教師になりなさい」と言われましたが、作家になりたかった僕は、“もっとドラマチックな人生を歩まなければいけない”と思い、旅に出ました。

東ドイツの貨物船に乗ってシンガポールまで行き、そこから再びインドを目指しました。途中、「バリ島は旅人に寛容で温かく、文化的に面白い」とヒッピーに教わり、1972年、まだ電気も水道も通っていないバリ島のウブドに1年間滞在。それからジャワ島を経てオーストラリアを放浪、気がつけば16年間シドニーにいました。

小さな頃からブックショップが好きだったので、結構大きな、横浜でいう有隣堂のような書店で働きました。ある日、窓ガラスに写ったスーツ姿の自分を見て「なんでサラリーマンをやっているんだ」とその日のうちに辞表を提出。街を歩き回って見つけた本屋を買い取り、1階を文学的でボヘミアンな本屋、2階を画廊、3階を住居にして、詩の朗読会や個展などを開催。夜な夜な仲間が集

まってきましたね。

その後、香港で映画製作などにに関わり、1989年に日本に戻ってきました。

## 作家への道を拓いたラジオ

帰国後はFMラジオ局でDJとなり、深夜番組で海外経験を語っていたところ、自伝出版の機会に恵まれました。書けないというフラストレーションから作家になる夢を棚に上げ、さまざまな仕事に就いてネタを探し、やっと40代になって夢が叶いました。昨年、初の長編小説『J 横浜ダイアリーズ』も出版。この小説は少年Jの成長物語で、第1部はJの初恋と横浜がテーマでした。第2部は放浪がテーマ。今、書きながら作り上げている最中です。

これから作家としてもっといろいろな小説を書いていきたい。短編にも挑戦したいと思っています。

## 横浜は本当に素晴らしい街

僕にとって横浜は世界で一番好きな場所。放浪していた時も中継地点は必ず横浜。白楽と東白楽の間の丘の上にある実家で、今も家族と暮らしています。静かでいいところです。近くにある六角橋商店街は活気があり、昔から全然変わっていません。家で執筆していて、夕方寂しくなると商店街に行きます。すると「お、作家先生が庶民に会いに来たね」なんて声をかけてくれて。またどこかの国に行ったとしても、帰ってくるのは絶対に横浜です。

旅をしていると、その地を愛している人たくさん出会います。昔は「横浜っていいだろう」と自慢する人がたくさんいましたが、最近あまり聞かない気がします。横浜の人はもっと街に対して「美しいよ、大好きだよ」って言ってほしい。そうしたらもっと美しい場所になります。花も「きれいだよ」って愛でてあげるときれいに咲くじゃないですか。だからぜひ街を褒めてあげてほしいと思います。

取材協力:フォンターナ ☎045(401)6320

## 国際的な街、横浜

英語教育者だった父(J.Bハリス氏)と眼科医の母のもと、横浜で生まれました。高校は山手にあるインターナショナルスクール。マルチカルチュラルで、人種に対する偏見や違和感が全くなく、人生のいい土台になったと思います。

当時の横浜は今よりも国際色豊かで、元町を歩く4人に1人は外国人。窓が外に向いていたんですよ。中華街は最新のソウルミュージックがかかる荒っばいところで、メインストリートも半分はバーでした。

仲間とベースに行ったらボーリングや映画鑑賞、週末は有隣堂で洋書を見て、地下の洋食レストランや元町のシェルブルー、ジャーマンベーカリーでハンバーガーを食べたり。

卒業してから52年が経ちますが、今も5〜6人と付き合っています。10代の頃は喧嘩もしま

したが、みんな優しくなって、いい成長を遂げましたね。力関係は変わりませんが(笑)。横浜の老舗レストランの社長も数人いて、食べ物には不自由しないんですよ。

## 世界はボーダレス

僕は昔から歩くのが好きです。どんどんエリアが広がって、高校生の時には北海道から与論島まで、ヒッチハイクで旅をしました。摩周湖に落ちかけて死にそうになったこともあるし、霧島では旅費を稼ぐためにユースホテルで働いたこともあります。

高校は6月が卒業式で、大学入学は9月。その間「次は外国だ」と大さん橋からバイカル号というロシアの船に乗ってナホトカに行き、ハバロフスクを経由しシベリア鉄道でモスクワへ。そこからまた汽車に乗ってスウェーデンに

## 初心者対象 手結びのきもの着付教室

無料受講券 2ヶ月全8回 プレゼント!

【主催】彩きもの学院

### ◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)

※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

### ◆開講要項◆

期間／週1回の2ヶ月 (応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)

定員／各時間10名

受講料／無料 ※但し教材費として期間中5,900円(税込)必要

| 教室 | 9月生 |      | 10月生 |       | 時間    | 会場          |
|----|-----|------|------|-------|-------|-------------|
|    | コース | 開講日  | コース  | 開講日   |       |             |
| 横浜 | 金曜  | 9/20 | 月曜   | 10/7  | A・B・C | 横浜駅西口 歩4分   |
| 銀座 | 水曜  | 9/18 | 木曜   | 10/17 | A・B・C | 有楽町駅銀座口 歩5分 |
| 渋谷 | 金曜  | 9/20 | 木曜   | 10/17 | A・B・C | 渋谷駅ハチ公口 歩5分 |
| 新宿 | 水曜  | 9/18 | 金曜   | 10/18 | A・B・C | 新宿駅西口 歩5分   |

A(10:30~12:00)／B(14:00~15:30)／C(19:00~20:30)

彩きもの学院

お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

<https://www.saikimonogakuin.co.jp/>

☎0120-073005

